

平成24年2月期 中間決算短信（平成23年2月11日～平成23年8月10日）

平成23年9月21日

上場取引所 東証

ファンド名 NEXT FUNDS NOMURA原油インデックス連動型上場投信
 コード番号 (1699)
 連動対象指標 NOMURA原油ロングインデックス
 主要投資資産 社債券
 売買単位 10口
 管理会社 野村アセットマネジメント株式会社 URL <http://www.nomura-am.co.jp>
 代表者名 CEO兼執行役会長 岩崎 俊博
 問合せ先責任者 投信ディスクロージャー部長 森保 一美 TEL (03)-3241-9511

半期報告書提出予定日 平成23年10月27日

I ファンドの運用状況

1. 平成23年8月中間期の運用状況（平成23年2月11日～平成23年8月10日）

(1)資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
平成23年8月中間期	百万円 277	% (66.1)	百万円 142	% (33.9)	百万円 419	% (100)
-	-	-	-	-	-	-

(2)設定・交換実績 (千口未満切捨て)

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
平成23年8月中間期	千口 510	千口 100	千口 0	千口 610
-	-	-	-	-

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10口当り基準価額 (③/当中間計算期間末発行済口数)×10)
平成23年8月中間期	百万円 446	百万円 26	百万円 419	円 6,878
-	-	-	-	-

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更
 ② ①以外の変更

有~~無~~
 有~~無~~

II 財務諸表等

【NEXT FUNDS NOMURA 原油インデックス連動型上場投信】

(1) 【中間貸借対照表】

期別	第 2 期中間計算期間末 平成 23 年 8 月 10 日現在
科目	金額(円)
資産の部	
流動資産	
預金	7,375,288
コール・ローン	1,747,438
国債証券	277,507,431
未収入金	54,136,884
未収利息	5
差入委託証拠金	105,598,178
流動資産合計	446,365,224
資産合計	446,365,224
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	25,319,440
未払受託者報酬	145,711
未払委託者報酬	1,311,332
その他未払費用	31,606
流動負債合計	26,808,089
負債合計	26,808,089
純資産の部	
元本等	
元本	593,530,000
剰余金	
中間剰余金又は中間欠損金()	173,972,865
元本等合計	419,557,135
純資産合計	419,557,135
負債純資産合計	446,365,224

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

期別	第 2 期中間計算期間 自 平成 23 年 2 月 11 日 至 平成 23 年 8 月 10 日
科目	金額(円)
営業収益	
受取利息	250,098
有価証券売買等損益	20,221
派生商品取引等損益	79,939,268
為替差損益	34,504,335
その他収益	232,063
営業収益合計	113,941,221
営業費用	
受託者報酬	145,711
委託者報酬	1,311,332
その他費用	64,913
営業費用合計	1,521,956
営業利益	115,463,177
経常利益	115,463,177
中間純利益	115,463,177
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	
期首剰余金又は期首欠損金()	54,179,688
剰余金増加額又は欠損金減少額	
剰余金減少額又は欠損金増加額	4,330,000
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額	4,330,000
分配金	
中間剰余金又は中間欠損金()	173,972,865

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

	第 2 期中間計算期間 自 平成 23 年 2 月 11 日 至 平成 23 年 8 月 10 日
1 運用資産の評価基準 及び評価方法	(1) 国債証券 原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。 (2) 先物取引 計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
2 外貨建資産・負債の本 邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益、派生商品取引等損益及び為替差損益 約定日基準で計上しております。
4 その他	当ファンドの計算期間は、平成 23 年 2 月 11 日から平成 24 年 2 月 10 日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成 23 年 2 月 11 日から平成 23 年 8 月 10 日までとなっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

第 2 期中間計算期間末 平成 23 年 8 月 10 日現在	
1 中間計算期間の末日における受益権の総数	610,000 口
2 投資信託財産計算規則第 55 条の 6 第 1 項第 10 号に規定する額 元本の欠損	173,972,865 円
3 中間計算期間の末日における 1 単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 (10 口当たり純資産額)	687.8 円 6,878 円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

第 2 期中間計算期間末 平成 23 年 8 月 10 日現在	
1 中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	
2 時価の算定方法 国債証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 派生商品評価勘定 デリバティブ取引については、(その他の注記)の 2 デリバティブ取引関係に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。	

(その他の注記)

1 元本の移動

第 2 期中間計算期間 自 平成 23 年 2 月 11 日 至 平成 23 年 8 月 10 日	
期首元本額	496,230,000 円
期中追加設定元本額	97,300,000 円
期中一部解約元本額	円

2 デリバティブ取引関係

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

種類	第 2 期中間計算期間末(平成 23 年 8 月 10 日現在)		
	契約額等(円)	時価(円)	
		うち 1 年超	
市場取引			
先物取引			
商品先物取引 買建	442,959,140		25,319,440
合計	442,959,140	417,639,700	25,319,440

(注)時価の算定方法

先物取引

先物取引の評価においては、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。上記取引でヘッジ会計が適用されているものはございません。